

◆事業方針（計画等における位置づけ）

日の出町教育委員会基本方針及び主要施策4「町民の教育参加」と「学校経営の改革」の推進に沿って、「学校・家庭・地域及び関係機関の連携による子供たちの健全育成」に努めている。また、日の出町教育推進計画主要施策3「開かれた学校づくりの推進」において、学校運営の改善を図るとともに学校支援体制を整備・強化するために、学校支援ボランティア推進事業の推進と、日の出町学校支援人材バンクを創設した。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）

日の出町では、町立小学校3校・町立中学校2校において日の出町学校協働本部を設置し、各校に1名の地域コーディネーターを配置し、5校全体を統括する統括コーディネーターを1名設けている。各校では地域コーディネーターが中心となり、学校支援ボランティア運営委員会を年2回開催し、ボランティア相互の連携・情報交換・交流等の大きな役割を果たしながら、各校校長の意向に基づいた行動の充実を図っている。

◆運営委員会

運営委員会では、各ボランティア団体の代表が成果や課題を話し合う中で、それぞれの活動に関心を寄せ、つながりを見せる活動も広がっている。教育委員会担当者も各学校の取組状況把握のため、学校で開催される学校支援ボランティア運営委員会へ参加し、各ボランティアから情報集約の後、本事業の適切な予算措置を行い、執行状況も確認している。

◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

町報「教育ひので」で学校支援活動の内容を紹介している他、学校スケッチというページで学校から原稿をいただき、ボランティア活用の教育活動の様子を掲載している。また、コーディネーターが各活動の様子を取りまとめ、ボランティア通信を発行している。さらに、学校のホームページ・ブログ等で活動を広く発信するよう指導・助言も行っている。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

統括ボランティア・全校の地域ボランティア・副校長・教育委員会事務局で構成される「日の出町学校支援ボランティア推進協議会事業運営委員会」を年2回開催し、各校の計画・取組事例について発表を行っている。コーディネーター間の情報交流の場となっており活発な意見交換が行われている。また、東京都主催のコーディネーター基礎研修へ参加し、育成を図るとともに、教育委員会担当者が学校訪問を行い、具体的な活動を参観し、管理職等から聞き取りを行い必要な支援要望を受けるようにしている。

◆成果

- 町立小・中学校全校実施に向けた学校支援体制づくりのため、日の出町学校支援人材バンクを立ち上げ、地域人材を確保した結果、平成30年度より全校実施となった。
- 各校校長の方針を受け、校庭の芝生・花壇の手入れ、図書館の整備、学習、学校支援、地域関係団体と連携した体験学習等の活動の充実を図ることができた。
- 毎年ボランティアの方々に「感謝の会」を実施し、日頃の活動の感謝を伝えている。

◆課題・展望

平成30年度より全校実施となり、各校との連携を高めさらなる内容の充実を図る。また、日の出町学校支援人材バンクを有効活用し、地域人材と学校をつなぐ体制を強化していく。